

平成23年度第2回花巻市社会教育委員会議会議録

平成24年2月16日（木）

出席委員（17名）

石橋恕篤議長、市川浜副議長、伊藤成子委員、伊藤達也委員、伊藤浩之委員、遠藤紀宏委員、小澤和一委員、押切郁委員、小原昭男委員、紺野佳子委員、佐々木悦子委員、佐藤彰博委員、佐藤康雄委員、高橋カヨ子委員、千葉緑委員、細川泰史委員、門馬優子委員

欠席委員（3名）

伊藤晴二委員、菊池敦子委員、清水潮委員

説明のために出席した者

菊池保守まちづくり部長、佐藤正眞生涯学習課長、佐藤加津三地域づくり課地域支援室地域支援監、玉山進スポーツ振興課長、阿部光雄市民協働参画課長、吉田伸一郎国際交流室長、太田健小中学校課主幹兼課長補佐、及川好布就学養育課長、中村良幸文化財課長、佐藤富次男大迫総合支所地域支援室地域支援監、関公士石鳥谷総合支所地域支援室地域支援監、青木力三東和総合支所地域支援室地域支援監

午後1時30分 開 会

1 開 会 佐藤正眞生涯学習課長

2 あいさつ 菊池保守まちづくり部長
石橋恕篤議長

3 議 題

○佐藤正眞生涯学習課長 議事進行は議長にお願いします。また、記録の関係がありますので、発言の際には、マイクをご使用ください。

○石橋恕篤議長 議事に入りますが、一括審議で進めてまいります。今もお話がありましたが、記録の都合がありますので、マイクを通じて発言賜りたいと思います。

それでは、平成23年度生涯学習振興事業の実施状況について、説明をお願いします。

○佐藤正眞生涯学習課長、玉山進スポーツ振興課長、佐藤加津三地域づくり課地域支援室地域支援監、阿部光雄市民協働参画課長、吉田伸一郎国際交流室長、太田健小中学校課主幹兼課長補佐、中村良幸文化財課長、及川好布就学養育課長 【資料説明】（1）平成23年度生涯学習振興事業の実施状況について

○石橋恕篤議長 それぞれご報告いただきましたけども、各委員からご質問等を承りたいと思います。発言の際は挙手をお願いいたします。

佐藤委員どうぞ。

○佐藤彰博委員 これだけの事業を総合的、体系的に展開されており、花巻市民は大変幸せだと思います。素晴らしい事業展開です。

この1年間、新聞報道等を通じて感じているのは、市内の大学と高校生を巻き込んで青少年教育事業を展開されていて、対象者は中学生や小学生ですが、実は一番充実した感じを持っているのは指導に当たった高校生です。新聞に載った子どもたちの感想を見ても非常に良い事業展開だと感じました。

それから、シニア大学も特に大学のプログラム自体の中に被災地支援をどのように取り組んでいくのかということも位置づけながら事業展開されていました。私どもの事業でもシニア大学を運営されている指導員に来ていただいて、モデル的に紹介させていただいた経緯がありました。とても素晴らしい運営をされていると思います。

3点伺います。家庭教育で大事なのは何かと言うと、親御さんたちのネットワークづくりです。勉強することも大事ですが、親御さんたちが友だち関係を作って、いつでも話し合える環境作りが大事になると思っています。家庭教育講座が終わった後に残ってもらって、サークルを立ち上げるとか、方法・手段はあると思いますが、今年具体的にどういうことをされたのかご紹介ください。

次に、通常家庭教育講座は、公民館講座で実施しても関心のある人しか来ません。それよりも効果的なのは幼稚園や小中学校で行うほうが、より効果的だと思います。少なくとも学校のPTA事業として位置付けることによって参加者が違ってきます。今年家庭教育講座の中で幼小中はどれだけあったのかお伺いできればと思います。

3点目は、まちづくりに係わってです。今回の被災支援関係でも特にNPOは非常に存在感があって、フットワークが軽く、行政がなかなか手が出せないところまで一生懸命活動してくださいました。花巻市の中にもNPO法人はいくつもあると思いますが、まちづくりにエネルギーが一番持っているのはNPOなので、その方々と手を組まないことはないだろうと思っています。市内のNPOと今年何らかの提携をしながら事業展開をされたことがあるのか、また今後どういう方向性を持ってNPOとの協働を考えているのかご紹介いただきたいです。

○佐藤正眞生涯学習課長 サークル作りの関係ですが、当市にはまなび学園の1階にこどもセンターという施設があります。これは、就学前の子どもたちが主体で土曜日曜も開いています。その中で保健師や指導員が入ってサークル作りに取り組んでいます。また、各保育園でも子育て広場として開放し、そちらでも就学前の子どもたちのお母さんに対してサークル作りをしております。

2点目の家庭教育講座は、当市では非常に歴史が古く20年以上前から開催しています。基本的にはPTAと連携して、できればPTAの時に開催していただきたいとお話ししております。今年度も小中、保育園等で開催しております。講師の選定や企画運営は学校で考えていただき、当課はあくまでも講師謝金という協働のスタイルをとらせていただいております。今年度は幼稚園で7園、保育園で15園、小学校17校、中学校3校、子育てサークル2団体で開催しています。

3点目のNPOとの協働連携ですが、当市でのまちづくりはコミュニティ会議という組織があります。まずはそちらと連携することによって、生涯学習の推進が図られるものと思っ

ております。また、青少年育成市民会議という非常に素晴らしい団体もあります。NPOに限らず他団体との協働によって花巻市では事業を実施していると考えております。

○佐藤加津三地域づくり課地域支援室地域支援監 NPOとのまちづくりの協働の関係ですが、今年1月30日に花巻市民活動支援センターというNPOと日居城野、花北、花巻中央、花西、花南の5コミュニティ会議が共催し、まん福で約200人が参加して協働のまちづくり公開セミナーを実施しています。講師は京都造形芸術大学の教授ですが、東京大学の大学院生でもありスタジオエルという全国のまちづくりを支援している会の代表でもある山崎亮さんで、非常にパワフルな講演をいただき、参加者の9割以上の方がまちづくりに非常に興味があって、またぜひこのような機会に参加したいとのことでした。

24年度におきましても、花巻市民活動支援センターで引き続きまちづくりの人材育成を計画していると聞いております。

○阿部光雄市民協働参画課長 花巻市では、まちづくり基本条例に基づきまして、市民と市との協働という考え方について、昨年市民協働参画推進委員会で市民と市との協働指針をつくっております。基本的な協働の考え方やどういった協働の形があるかといったことを一つにまとめ、広報誌等で紹介しております。

それから、市民活動団体支援事業という補助金の制度がありまして、この中でNPOあるいはボランティア団体が色々な取り組みをされています。

○石橋恕篤議長 佐藤委員、よろしいでしょうか。他にご質問はございませんか。紺野委員。

○紺野佳子委員 施策の方向の生涯学習の基礎づくりで、小中学校課の説明の中に「学力向上のために国語を取り上げた。」ということでしたが、花巻市の場合、教育委員会小中学校課と生涯学習課の社会教育について、どこが接点になればいいのか、いつもはっきり掴めないでいます。

ユネスコは、世界遺産で皆さんに大変注目されていますが、大事な分野に教育ということがありまして、ユネスコスクールに取り組んでいます。気仙沼地域では、たくさんの学校がユネスコスクールに入っております、今度の震災でユネスコスクールのネットワークが大変ありがたかったと発表がありました。

花巻ユネスコ協会も大変いい方向だと思っておりますが、なかなか進めることができずにいます。生涯学習のことですが、ここで取り上げている教科は国語だったりしています。持続可能な教育は小学校5年生ごろの指導要領に入っていることですが、そのことについては、まだ話題にならないのでしょうか。

○太田健小中学校課主幹兼課長補佐 新学習指導要領では「学力」を知識・技能の習得及びそれを活用する「思考力・判断力・表現力」の育成と捉えており、本事業においては、新学習指導要領で示す「学力」を向上させる指導法の研修であるということに関連性があると思っております。

○紺野佳子委員 2、3年前に及川教育長にこのことについて文部科学省が出している資料をお持ちした時に、教育長からは「たくさんの先生方に読んでもらいたいと取り寄せました。」というお話を聞いていました。

社会教育の分野で大きい役割を果たす生涯学習課にお願いすればいいのか、学校教育なのか迷っています。教科に限らない内容もあるし、教科に関連することもあるので、生涯学習

課で取り上げる小中学校教育の中身としても考えていただければと思っています。

○石橋恕篤議長 ありがとうございます。他にご質問はございませんか。押切委員。

○押切郁委員 3点伺います。こどもの城構想、まなびキャンパス構想というのは、私が出席した最初の頃から毎回聞かされていましたが、その内容はどの程度進展して、どのような考えで実現されるのでしょうか。

次に、今回の会議に関心を持って臨んだことの一つに、昨年賢治のまちづくりの会議を重ねてきましたが、そのことがどのように反映されているのかということがあります。24年度の計画のまちづくりの一番上に賢治のまちづくり関係ということが出ていましたが、大変いいことだと思います。ただ、この文章だけでは見当が付きませんが、昨年検討を重ねてきましたので、その構想を活かしていただきたいです。

3点目は、24年度は県の美術展を開催すると決まったのでしょうか。ずっと以前にやっていた途中で止めたのは、人手もお金も市で全部持たなければならないということで大変だったそうです。私たちでお手伝いできるのであれば、ボランティアで協力できると思います。それから、市民に対するPRにもっと力を入れていただかないと、ただやりましたというだけでは、お金も人手もかけたものが、とてももったいないと思います。私ども文化団体でも協力いたしますので、学校はもちろんのこと市民の皆さんに広く呼び掛けることについて力を入れていただきたいと思います。

○佐藤正眞生涯学習課長 こどもの城構想につきましては、こども課の担当でございまして、実現に向けてまだ協議を重ねている段階とのことです。

まなびキャンパス構想につきましては、今年のこの会議でもお示しした経緯がありますが、「いつでもどこでも学ぶことができる生涯学習のまちづくり はなまきまるごとまなびキャンパス」という考えのもとに進めたいと考えております。基本は生涯学習振興計画であり、それを実現するための手段としてこのような構想を立てております。その中での人づくり、まちづくりにつきましてはの考えを定めて事業を行いながら、まなびキャンパスの実現を目指すということで進めているところです。

賢治のまちづくりについては、お示したのはこの位ですが、次週賢治のまちづくり委員会で委員の皆様にご方向性についてお示しする予定となっておりますので、よろしくお願いたします。

芸術祭関係で、県の巡回美術展に取り組んではどうかと前回ご指摘がありました。毎年は無理かもしれませんが、花巻市でも開催したいということで取り組んでまいりたいと思います。押切委員ご案内のとおり、開催することが目的ではなく、開催した時にいかに市民に見ていただけるかということです。私どもでは広報とか一般的な手段でPRいたしますが、文化団体協議会と協力しながらPRに努めて、県内の優秀な美術品が来たときにたくさんの市民に見ていただきたいと思います。これから議会の承認も得まして本決まりになりましてからご相談申し上げます。これこそ協働で取り組まなければならない事業だと思っていますので、よろしくお願いいたします。

○石橋恕篤議長 よろしいですか。ほかにご質問はありますか。佐藤委員。

○佐藤康雄委員 戸塚森森林公園キャンプ場の利用について伺いますが、昨年暮れからトイレの水洗化工事が始まっています。利用者にとっては、大変いい環境が整うのではないかと

考え、大変感謝しております。今後ますます快適に利用されることを期待しています。

資料2ページにあります青少年健全育成の推進という項目の中にサマーキャンプ in 戸塚森とありますが、これは石鳥谷地域の小学生を対象にした交流キャンプとして大変大きな成果を上げているわけですが、施設の積極的な利用という観点から考えると、市内の全小学校を対象としてもいいのではないかと思います。いかがでしょうか。これまで石鳥谷だけに絞ってきた理由は特に何かあるのでしょうか。来年度の予算措置状況はどうなっているのかお伺いたします。

○佐藤正眞生涯学習課長 以前は古代村や野外活動センターがありましたが、無くなりまして、戸塚森が屋外活動の拠点だと思っております。

今年度までは、石鳥谷地域の小学生が対象でしたが、現在小中学校課と協議しながら、まさに、委員ご提言のように、市内全小学生の子供会のリーダー研修会という位置づけで青少年市民会議と一緒にやっていければと思っております。

○石橋恕篤議長 佐藤委員、よろしいですか。ほかにご質問の方いらっしゃいますか。遠藤委員。

○遠藤紀宏委員 就学前の子どもたちの基本的な生活習慣の確立、自立心の向上について説明を受けました。そのとおりだと思います。私も関係会議に1、2回出席させていただきましたが、家庭でニコニコチャレンジという事業は、入学前の子供たちがどうあるべきか、早寝早起き、朝ご飯だとかテレビとか親が自覚するいい機会になっているということをお聞きしています。小学校入学前の子どもたち、親も含めて今後もぜひ続けていただきたいという感想です。大変いい取り組みだと思っております。

幼稚園や小中学校での災害時の避難ですが、校内での避難についてはどこの学校でも確立されていると思っておりますが、校外で避難しなければならないという事態になったときに、各学校ではどういう取り組みが現在されているのでしょうか。

芸術文化の振興に係わって、施設の利用状況について最近の傾向が分かれば教えていただきたいと思っております。

○太田健小中学校課主幹兼課長補佐 学校毎に地理的な面や児童生徒数など状況が違うことから、一律にこうするというのではなく、各校において、各校毎に実態に応じた防災対策に取り組んでいるところであり、避難訓練を通しながら、より実践的な避難の仕方について改善を図っております。

○佐藤正眞生涯学習課長 詳しい資料は現在持ち合わせておりませんが、内部で聴取したところによりますと、5月の連休などは非常に人が入りませんでした。秋以降ずいぶん回復して、修学旅行や県外からのお客様が多く見えるようになって、宮沢賢治記念館では今では前年とほぼ同じ程度に戻っております。

○石橋恕篤議長 他にご質問はありますか。門馬委員。

○門馬優子委員 3点お聞きします。小学校に導入された英語教育の現状はどうなっているのでしょうか。花巻市には国際交流室もあって、生きた外国語に触れる機会にも恵まれていると思っておりますが、模範事業では英語は取り入れないのでしょうか。

地域支援室が設置されて、振興センターで生涯学習事業が盛んに行われています。確かに事業数や参加者も多くなっていますが、合併前は生涯学習事業の中のいろいろな講座におい

てはリーダー養成ということも大きな主眼点でした。振興センター中心の生涯学習事業になってから、リーダー養成という観点はどのように考えているのでしょうか。

文化財の関係で、前回の社会教育委員会議に出席した時に、ガイドブックができたとお聞きし、個人的に入手したいと思い、東和のふるさと歴史資料館を通じて手に入れることができましたが、代金を振り込まなければならないなど、結構面倒でした。せっかく編集したガイドブックをもっと広く市民が手に入れる方策は、今はどうなっていますか。

次は、質問ではありませんが、市の広報誌の最後を飾っている歴史探訪のページは、大変いいと思います。目の不自由な方たちに音声訳で広報誌を読むボランティアをしており、写真を言葉で説明するのは難しいといつも思いますが、説明も分かりやすくとてもいいページだと思いますので、今後もよろしくお願ひしたいと思います。

○太田健小中学校課主幹兼課長補佐 3年前から、小学校教員への指導法研修が行われており、各小学校に外国語活動の中核となる教員を育ててきました。外国語活動全面実施前には、矢沢小学校において指導法の研究を行い地域で発表しました。また、英語指導助手を各小学校に派遣し外国語活動の充実に努めております。

○佐藤加津三地域づくり課地域支援室地域支援監 まちづくりで生涯学習に取り組んでいるという考え方の中には、地域に住んでいる方々がスキルを地域で発揮していただくという期待がありまして、生涯学習によって人を高め、その高まった人が地域の中で増えていくことがまちづくりにつながるという考え方をしております。追加資料の中にもございますが、地域のニーズに合わせた生涯学習講座ということで、地元のことをよく知っていただき、スキルアップしていただき、まちづくりにその力を発揮していただけるものと考えています。

○中村良幸文化財課長 ガイドブックについて、現在販売しているのは、問い合わせがあった方にしか販売しておりません。もう少し間口を広げて、博物館や資料館でも販売できるようにしたいと考えています。ホームページにも出しておりますが、かなりの種類の文化財に関する書籍について販売できるものがあります。現在残数等のデータを取っている最中で、それらも同時に販売できればと思っています。

○ほかにご質問はございますか。伊藤委員。

○伊藤成子委員 小学校の低学年の子どもたちの放課後のことですが、市内に十数か所の学童クラブが開設されていますが、そういったことに関してはここに記載されていませんが、市では学童クラブに対してどのような指導とか支援をしているのでしょうか。24年度におきましても、何か計画がありましたらお知らせいただきたいと思います。

○佐藤正眞生涯学習課長 こちらに記載しているのは生涯学習振興計画に基づく事業でした。学童クラブについては、児童健全育成計画等の方で取り上げておりますので、こちらでは載せておりません。ご了承をお願いしたいと思います。

○石橋恕篤議長 よろしいですか。他にご質問の方。千葉委員。

○千葉緑委員 生涯学習の基礎づくりの学校教育に係わるものですが、結果的に基礎学力低下が危ぶまれているということで、ゆとり教育が無くなったわけです。特に中学校では義務教育の最後の大事な3年間であり家庭教育等を充実させることが大事だと思ひますが、部活動は大会でも最長で6時には終わるといふことにしていますが、岩手県全体かと思ひますが、部活動の後スポーツ少年団などで9時とか10時とかまで長時間活動していることに疑問を

感じています。

先ほど、学校教育イコール学力・知識に展開していくとのことでしたが、大事な基礎学力がなければ展開することもできないと思います。スポーツ少年団活動をどこまで学校で許して、それ以降どこまでの責任でやっているのでしょうか。

昨年11月に防災研修があって参加しましたが、とても有意義でした。研修会のテーマは「震災と生涯学習」というものでしたが、そういうものは花巻市でも出されているのかなと思いました。中でもコミュニティFM787がせっかくできていますが、周知が薄いと思います。また、花巻市全体に電波が届いているのか知りたいです。

○太田健小中学校課主幹兼課長補佐 今週の月曜日に岩手県総合教育センターの発表会が行われましたが、その時の全体会の話題がまさに「家庭学習」「部活動」でありました。これについては、花巻だけでなく全県で、学校長のリーダーシップのもと考えていかなければいけないと捉えております。

○佐藤正眞生涯学習課長 3.11以降防災が今日的学習課題となってきている中で、花巻市でも例えば生涯学習講座や高齢者学級・女性学級の中で取り上げておりますし、幅広い意味での防災研修会も生涯学習の一つと捉えております。

○佐藤加津三地域づくり課地域支援室地域支援監 5月までコミュニティFMの担当をしておりましたので、お答えいたします。

通常は20ワットで放送しております。これにつきましては、届く範囲が限られておりますので、市内に8箇所アンテナを建てています。3.11の後、出力を100ワットに上げてまして、そうしますと2箇所で全域に届きます。災害時には100ワットに上げますので、全域に届くと考えていただいて結構です。

○石橋恕篤議長 他にご質問はありますか。押切委員。

○押切郁委員 芸術文化関係の施設について、ここで審議するものかどうか分かりませんが、文化会館や図書館はとても生涯学習と関係があると思います。特に私たちは、芸術祭関係ではお世話になっています。文化会館や図書館ではそれぞれ審議会がありますので、そちらで話がされるのかもしれませんが、社会教育と大いに関係があると思いますが、ここには全然出てこないものなのですね。

先日、広報に図書館をリニューアルしたと載っていました。花巻にふさわしい図書館が欲しいという運動は、ずいぶん前から聞いていますが、リニューアルでおしまいにしたのかと懸念しています。

文化会館についても、人事異動の際に特殊な技術や資格を持った職員でなければできないことがあります。例えば退職した後の職員の養成というものが疎かになっているということで、困る点が多くありますので、そういう点も考えていただきたいと思います。

それから、500人規模のホールが欲しいということも、ずいぶん前からの市民からの要望ですが、これもなかなか届かないようです。ここで議論することかどうか分かりませんが、社会教育と大いに関係があると思いますので、質問させていただきます。

○紺野佳子委員 文化施設について関連して質問します。花巻市の機構図を見ると図書館とかイーハトーブ館、新渡戸記念館というところが補助執行機関となっていますが、どういうことでしょうか。

○石橋恕篤議長 芸術文化の関係で、文化会館と図書館。それから組織の関係も併せてお願いします。

○佐藤正眞生涯学習課長 芸術文化の振興を考えた時に、文化会館や図書館は社会教育施設として関心があるのは当然でございます。

図書館につきましては、現在改築に向けて懇話会を市民参画のもと組織し、図書館の基本的な構想について、市から原案を示すという形ではなく、市民の皆さんで取りまとめていただくことで進めています。これにつきましては、基本的な構想ができましたら皆様にもご報告させていただきます。

運営につきましては、各施設で運営協議会を持っておりますので、そちらで考えていただくという形にさせていただいております。

○菊池保守まちづくり部長 補助執行についてご説明させていただきます。委員の皆さんご承知のとおり、学校教育も含めまして文化行政とスポーツ部門は教育委員会の所管でございます。地方教育行政の組織及び運営に関する法律がございまして、その中で教育委員会の所管が定められています。法改正がありまして、平成20年4月から教育委員会の持っている権限のうちスポーツと文化については、職務権限の特例の中で地方自治体が条例で定める場合について、教育委員会から市長部局に、いわゆる首長の権限で執行できることとなりました。

これを受けまして花巻市では平成20年12月議会で花巻市教育に関する事務の職務権限の特例を定める条例を議会で議決しました。スポーツと文化行政については市長部局で行うことができるということで議決をいたしました。スポーツについては全面的に市長の権限としましたが、萬鉄五郎記念美術館、図書館、新渡戸記念館、宮沢賢治記念館、イーハトーブ館等については、教育委員会に権限が残ったまま市長部局のほうに事務を執行させるということで、担当部長である私が教育委員会から所管事務の補助執行を受けているということです。そのような関係で、皆様方の発令行為については教育委員会からなされておりますが、会議は私の名前で開催しております。

非常に分かりにくいかもしれませんが、その心は、まちづくり政策とスポーツ・文化は一体的に行うという市長の方針のもとに行ったものです。教育は、政治的な中立性から独自の教育委員会が設置されているところでありますが、近年市長部局との一体性ということで全国においてもこのような形で行われているところがたくさん出てきております。

○石橋恕篤議長 他にご質問の方はありませんか。どうぞ。

○市川浜副議長 成人式について考えてもらわなければと常々思っていました。今年の成人式ばかりでなく、今まで何回か出席させていただきましたけれども、あの状態でいいのでしょうか。時間をかけて多くの方が苦心をされて素晴らしい成人式にしようと思ったのにも関わらず、たった30分間の市を挙げての式典が騒がしく、マナーが全くありません。これから花巻を背負って立つ青年たちがあの状態でいいのかなと式典に参加した全ての方がそう思ったのではないのでしょうか。

成人式といえば各地で騒々しいことが報道されていますが、花巻市を挙げて行う式典とするならば、30分はそれぞれの話をよく聞いてもらいたいと思います。特に残念だったのは、若葉小学校の4年生が成人者の皆さん方にメッセージを送っているのに立って歩く、私語が

あるで、情けないと思いました。

○石橋恕篤議長 ほかにございませんか。意見、質問どうぞ。紺野委員。

○紺野佳子委員 先ほど24年度のところで先人調査とありましたが大賛成です。世界に誇るべき人物が花巻にたくさんおります。私も知りませんでした。矢沢の照井亮次郎はメキシコに植民地で出かけ、日本語とスペイン語の辞典を作ったということで、世界的に非常に尊敬されています。矢沢中学校の総合学習か何かの授業で取り上げてから少しずつ広がってきていますので、ぜひそのような先人をたくさん見つけてほしいです。

一冊のまとめた本になってから市民に紹介するのではなく、広報誌の最後のページで紹介していただければ、先ほどの読み聞かせの場合でもいいし、各家庭でもそれを見ながら語り合えば、非常にいい家庭教育になると思います。

○佐藤正眞生涯学習課長 ご意見を参考にさせていただきます。私どもが承知しているのは少ない部分だと思います。これを機に調査してまいりますので、情報があれば、私どもの方にお知らせいただければと思います。

○石橋恕篤議長 他に委員から無ければ、私からも質問させていただきたいと思います。様々な観点から疑問、質問が出てそれに対する回答がありましたが、実施状況ということですので、その達成率はどうなっていますか。

○佐藤正眞生涯学習課長 数字でお応えするのは難しいですが、震災が3月にありましたけれども、当初の基本施策に基づいての実施事業としてはほぼ実施されております。

○石橋恕篤議長 これで全体的にはご質問いただいたと思います。ぜひこの点はということがなければ、議事はこれで終わりたいと思います。

少し時間が長くなりまして申し訳ありませんでした。平成23年度生涯学習振興事業の実施状況につきましては、以上とさせていただきます。

その他につきましては、事務局からお願いいたします。

○佐藤正眞生涯学習課長 その他につきましては、事務局で用意したものはございません。

大変貴重なご意見、ご提言をいただきました。以上で第2回花巻市社会教育委員会議事を閉じさせていただきます。どうもありがとうございました。

午後3時17分 閉 会